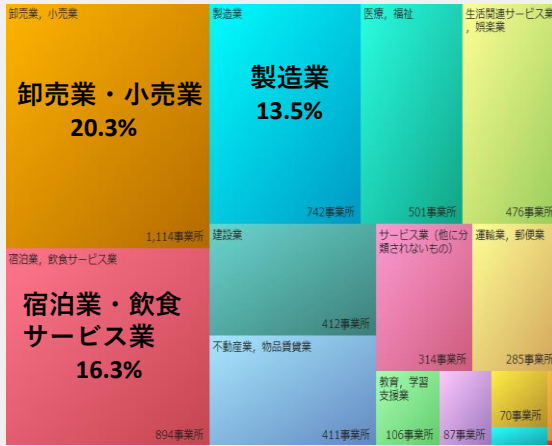
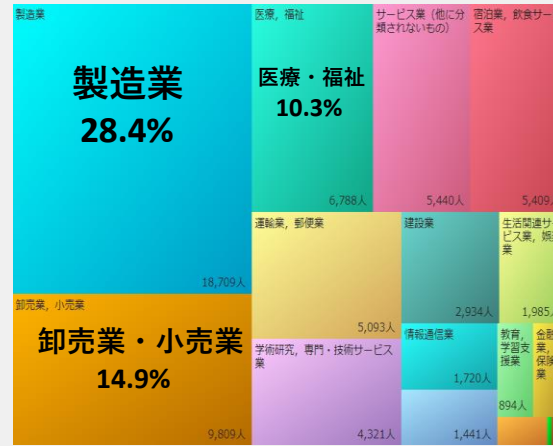


RESASでみる門真市の産業の特徴

事業所数（事業所単位） 5,462事業所



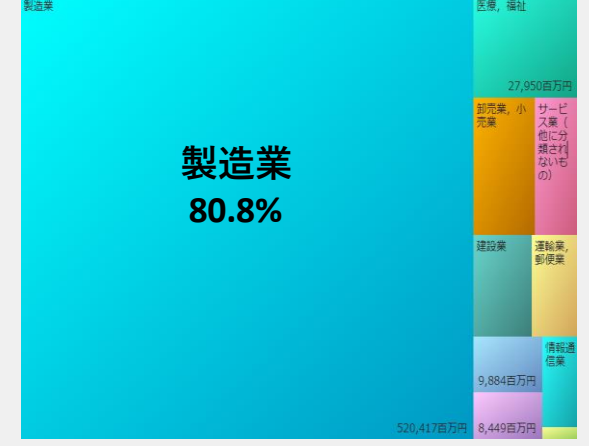
従業者数（事業所単位） 65,823人



売上高（企業単位） 5,035,659百万円



付加価値額（企業単位） 643,707百万円



門真市産業の課題の整理・分析（SWOT分析）

分析の目的：
「いかにして門真市ものづくり産業を活性化するか」

内部環境	Strong 強み	<ul style="list-style-type: none"> 多様な業種のものづくり企業の集積（高い対応力のポテンシャル） ものづくり企業ネットワークの存在 充実した支援機関の存在 企業間、支援世界的大企業、ニッチトップ企業の存在 市内での新たな都市開発・プロジェクトの進行
	Weak 弱み	<ul style="list-style-type: none"> 事業所数の減少 市内での工場用地の不足・確保難 住工混在問題発生の可能性 市のものづくりのブランド力・知名度が低い 人材・後継者の確保／育成への対応 イノベーション創出のマインド・体制の低さ GX、DX化への対応の不十分さ

外部環境	
Opportunity : 機会	Threat : 脅威
<ul style="list-style-type: none"> 高い交通利便性 製造の国内回帰、サプライチェーンの再構築の流れ 大阪国際万博の開催 GX化への対応（他者との差別化） DX化への対応（他者との差別化） 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢社会による絶対的な生産人口の減少 国内市場の縮小 長期的な世界情勢の変化（不確実性の増加、国際競争力低下） 自治体間競争の熾烈化
<ul style="list-style-type: none"> 現状変革のマインド、機運の強化／醸成 大企業、中小企業も交えたものづくり企業ネットワークの強化（人材交流、イノベーションの創出など） ものづくり企業のまちづくりへの参画（コトづくり） 産業支援機関・施設の機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> 企業連携関係を活かした、課題解決（人材、生産性向上、域内受発注、事業承継など）推進 企業連携による共同受発注プラットフォームの推進 支援機関による支援ネットワークの強化 企業ロールモデル等の横展開 教育機関との連携
<ul style="list-style-type: none"> 門真ものづくりブランドの全国的発信 工場の“見える化”の推進（オープンファクトリー） 事業用地へのニーズへの対応 次世代型スタートアップ等の創出、誘致 事業承継・技術承継の推進 GXによる企業価値向上、先進地としての存在感発揮 DXによる生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者承継を含む域内での事業承継マッチングの促進 企業の経営資源の共通/共用化 近畿圏外／海外へのアプローチ検討